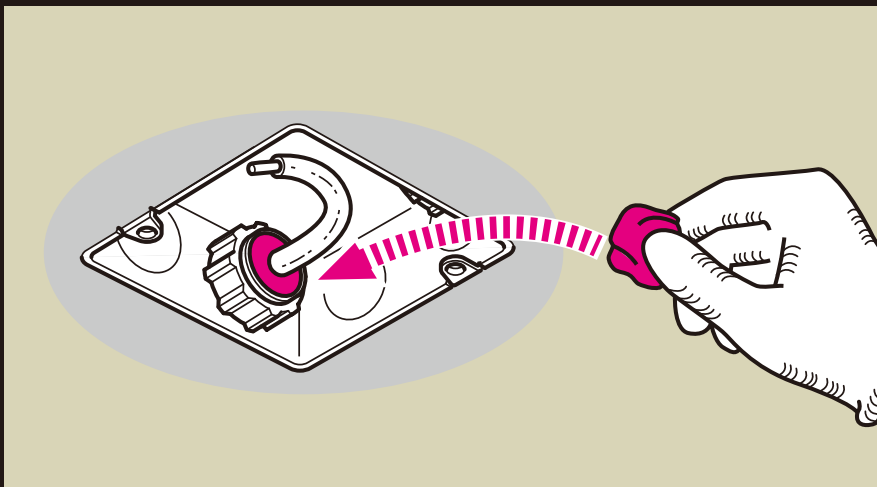


防火部材 タイカブラック®

タイカスールBP®

認定 & 評定 一覧



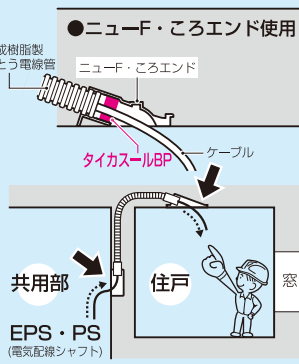
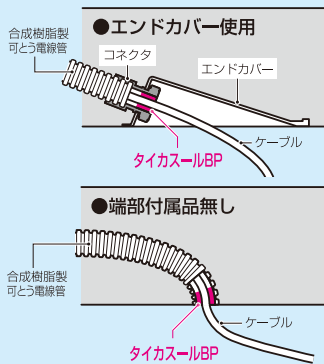
タイカスールBP

電気用ボックス等を取り付ける
 ※共住区画

共住区画(パイプシャフト↔住戸) 電気埋設配管に!



ボックス・エンドカバー・
 CD管等の端末処理に



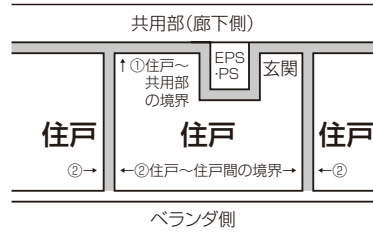
- ①PF管28まで配管OK! KK29-032号 KK29-033号
- ②一つのボックスに最大6本迄配管OK! KK29-032号

共住区画に使用します。

(注)共住区画の構造を設けている箇所に使用します。(令8区画には使用できません。)
 (注)使用の際は、共住区画の位置を設計業者様に確認のうえ、ご使用ください。

共住区画の例 ※共住区画は、右図 の部分で、
 ①住戸～共用部の境界
 ②住戸～住戸間の境界に設けられます。

(注)EPS、PS(電気配線シャフト)を共用部とする設計の場合、PS→住戸への合成樹脂製可とう電線管・埋設配管部が、共住区画防火措置の対象となります。



サブウェイ工法



(一財) 日本消防設備安全センター 性能評定	貫通する壁・床の構造	ケーブル直 (導体断面積) (1本あたり)	CD管	VE管	PF管	FEP管	占積率(%)
KK29-032号	100mm厚以上 (※)	—	28以下	—	28以下	—	—
KK19-096-1号					22以下		
KK29-033号					28以下		

(※)KK29-032号で、壁に開口部を設置する場合は壁厚120mm以上。

MIRA タイカスールBP

タイカスール[®]BP

(パテシートタイプ)

完全に硬化しない **半硬化タイプ**

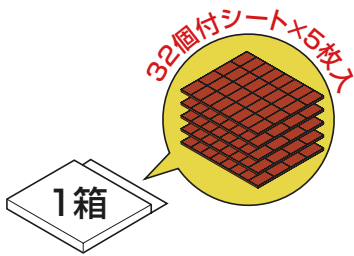
コンパクトなシートタイプ
コーキングガン・バックアップ材不要



● 評定マーク請求書付

1箱160個入

1個ずつ分割でき、使用分が
キッチリ計算できる、
シートタイプの充填材。



- 190℃以上の熱を受けると2倍以上にふくらみ延焼を防止します。
- 粘土のように丸めて詰めるだけの簡単施工で、施工後でも充填状態が目視確認できます。
- ケーブル変更工事も簡単！施工後も完全に硬化しない半硬化タイプ。
- CD管・PF管のサイズ(CD・PF14~28)を問わず使用でき、1箱でなんと最大160箇所分！（サイズにより異なります。）
1個ずつ分割でき、使用分がキッチリ計算できるコンパクトなシートタイプ。
- 落下防止シート(9個付シート×5枚入)付
※落下の恐れがある場合のみ、ご使用ください。

1 施工が簡単

- ケーブル配線後に施工が可能です。
- 粘土のように丸めて押し込むだけの簡単施工だから、アウトレットボックス又はエンドカバー内等、狭い場所での作業がラクに行えます。
また、施工面が露出しているから、施工後も充填を目視確認できます。
- コーキングガン等の充填用工具が不要です。

2 半硬化タイプ

- 施工後も完全に硬化しないから、施工後のケーブル変更工事が容易に行えます。
- 硬化するタイプより、保存期間が長いです。

3 コストが安い

- CD管・PF管のサイズ（呼び14~28）を問わず使用でき、1箱で最大160箇所(80貫通)分。（サイズにより異なります。）
1個ずつ分割でき、使用分がキッチリ計算できるシートタイプです。

4 バックアップ材不要

- タイカスールBPのみの施工で済みます。

品番	使用量の目安		入数	最小入数	希望小売価格(税抜)
	適合CD(PF)管	使用個数			
MTKS-BP	14・16・22	1個(1箱で、160箇所(80貫通)分)	5箱	1箱	30,200
	28	2個(1箱で、80箇所(40貫通)分)			

※この商品の価格は1箱価格です。

■タイカスールBP使用量(最低必要量)

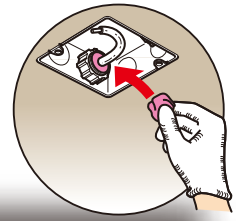
電線管呼び	使用個数
14・16・22	1個 (1箱で、 160箇所 (80貫通)分)
28	2個 (1箱で、 80箇所 (40貫通)分)

■結露対策には結露防止ボックスをご使用ください。

確認施工

標準施工と異なりますので、
所轄行政機関にご確認ください。
注)断熱カバー、断熱シートを
付けたボックスは不可





技術資料

タイカスールBP サブウェイ工法

評定条件 (抜粋)

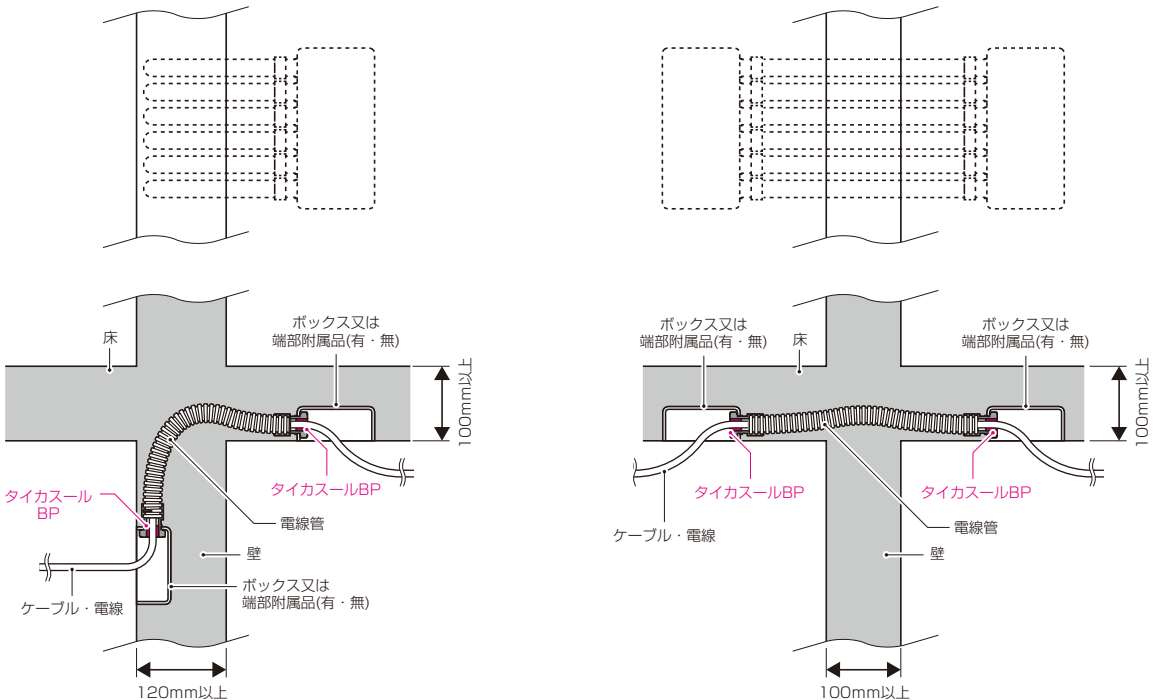
●(一財)日本消防設備安全センター性能評定

構造		床・壁 (KK29-032号)
床・壁の構造		厚さ100mm以上の床・壁 ○鉄筋コンクリート／鉄骨鉄筋コンクリート (ただし、壁に貫通部を設置する場合は厚さ120mm以上の壁)
電線管		・合成樹脂製可とう電線管(JIS C 8411; CD管、PF管) ・外径36.5mm以下
ケーブル		電線管への挿入ケーブル(1つのボックスで貫通できる最大組み合わせ例) ・電力ケーブル : CE/F 1×38mm ² ×2本以下 CE/F 3×22mm ² ×2本以下 EEF/F 3×2.0mm×4本以下 ・絶縁電線 : IE/F 5.5mm ² ×2本以下 ・同軸ケーブル : EM-S-7C-FB×2本以下 ・制御用ケーブル : CEE/F 7×1.25mm ² ×2本以下 ・警報用ケーブル : AE 6×0.9mm×2本以下 ・小勢力回路用耐熱電線 : HP 3P×0.9mm×2本以下 ・通信用ケーブル : FCPEV 5P×0.9mm×2本以下 ・光ケーブル(外径: φ4.3mm以下) : ×2本以下
端部附属品等	ボックス	○ボックス (JIS C 8435準拠)・合成樹脂製ボックス 外寸: 320×122×54mm以下 (埋込スイッチボックス6個用まで及び埋込大形四角アウトレットボックスまで)
	エンドカバー	・CD28用まで ・PF28用まで
	F-こるエンド	・CD28用まで ・PF28用まで

標準施工図 (抜粋)

ケーブルは単独又は複数種類を同時に挿入することができます。

●配線目安 (占積率 58.5%
 ・ 導体断面積 38mm²
 ・ 総導体断面積 約66mm²)



評 定 条 件 (抜 粋)

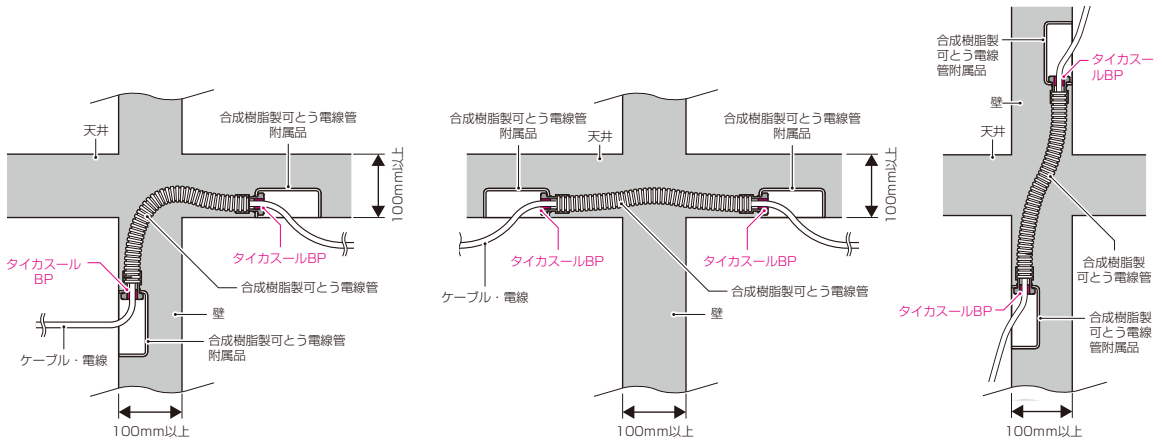
●(一財)日本消防設備安全センター性能評定

構 造		床・壁 (KK19-096-1号)
床・壁の構造		厚さ100mm以上の床・壁 ○鉄筋コンクリート/鉄骨鉄筋コンクリート
電線管		・合成樹脂製可とう電線管(JIS C 8411 ; CD管、PF管) ・外径34.0mm以下
ケーブル		電線管への挿入ケーブル(1つのボックスで貫通できる最大組み合わせ例) ・電力ケーブル: CV 1×38mm ² ×1本以下 VVF 2×1.6mm×1本以下 ・同軸ケーブル: S-5C-FB×1本以下 ・光ケーブル(外径: φ4.3mm以下)×1本以下
端部附属品等	ボックス	○ボックス (JIS C 8435準拠)・合成樹脂製ボックス 外寸: 320×122×54mm以下 (埋込スイッチボックス6個用まで及び埋込大形四角アウトレットボックスまで)
	エンドカバー	・CD28用まで ・PF22用まで
	F-ころエンド	・CD28用まで ・PF22用まで

標準施工図 (抜 粋)

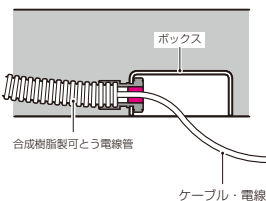
ケーブルは単独又は複数種類を同時に挿入することができます。

●配線目安
 ・占積率 39.3%
 ・導体断面積 38mm²
 ・総導体断面積 約44.3mm²

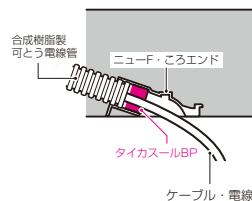


〈KK29-032号及びKK19-096-1号での端部附属品の例〉

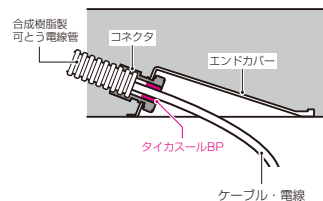
●ボックス使用



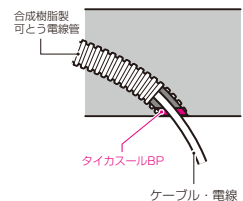
●ニュー-F-ころエンド使用



●エンドカバー使用

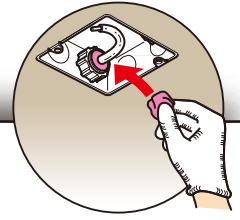


●端部附属品無し



技術資料

タイカスールBP サブウェイ工法



評定条件 (抜粋)

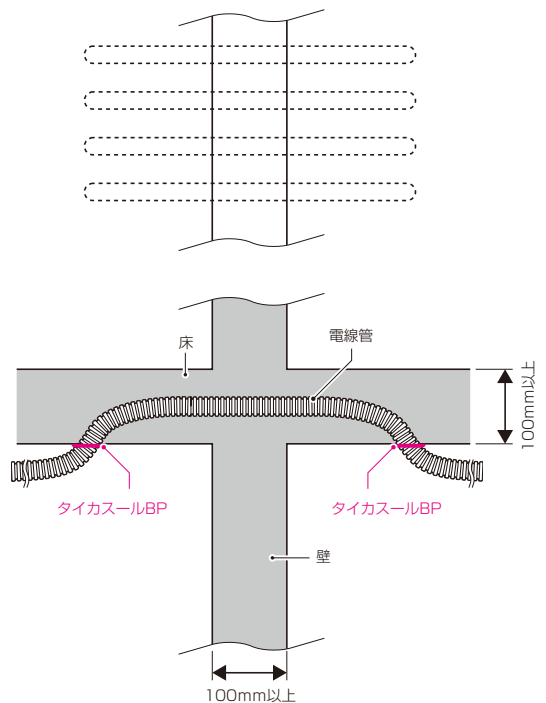
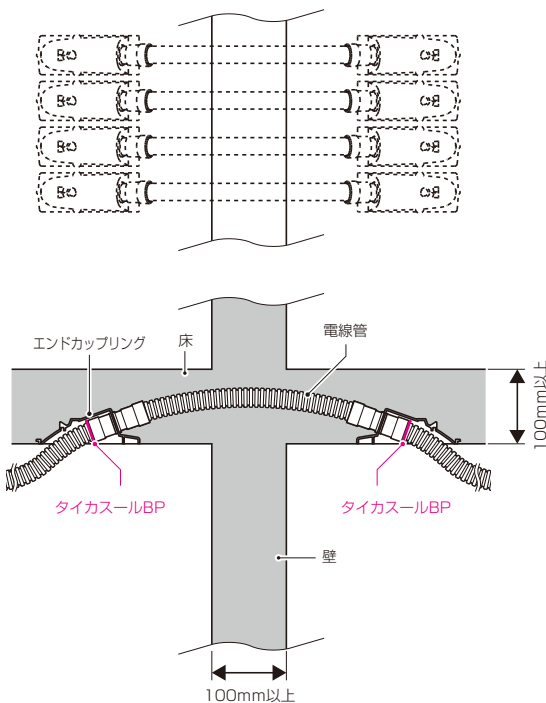
●(一財)日本消防設備安全センター性能評定

構造	床・壁 (KK29-033号)
床・壁の構造	厚さ100mm以上の床・壁 ○鉄筋コンクリート／鉄骨鉄筋コンクリート
電線管	・合成樹脂製可とう電線管(JIS C 8411；CD管、PF管) ・外径36.5mm以下
ケーブル	電線管への挿入ケーブル(最大組み合わせ例) ・電力ケーブル : CE/F 1×38mm ² ×2本以下 CE/F 3×22mm ² ×2本以下 EEF/F 3×2.0mm×2本以下 ・同軸ケーブル : EM-S-7C-FB×2本以下 ・警報用ケーブル : AE 6×0.9mm×2本以下 ・光ケーブル(外径：φ4.3mm以下)：×2本以下
エンドカップリング	・CD28用まで ・PF28用まで

標準施工図 (抜粋)

ケーブルは単独又は複数種類を同時に挿入することができます。

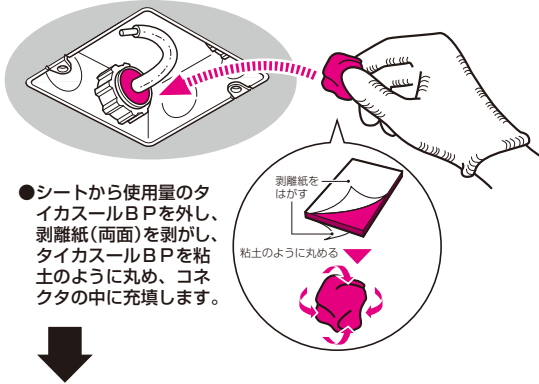
●配線目安
 ・占積率 56.3%
 ・導体断面積 38mm²
 ・総導体断面積 約66mm²



施工要領

タイカスールBP サブウェイ工法

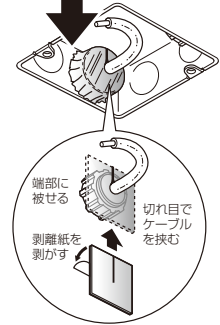
- ① 充填前に、施工箇所周辺を清掃する。
※配線が複数の場合は、タイカスールBPを充填しやすいように配線のもつれを直す。
- ② タイカスールBPの剥離紙を剥がす。
- ③ タイカスールBPを、所定量・端部開口部とケーブルとの間に落下しないように、確実に充填する。



●シートから使用量のタイカスールBPを外し、剥離紙(両面)を剥がし、タイカスールBPを粘土のように丸め、コネクタの中に充填します。

〈ご注意〉

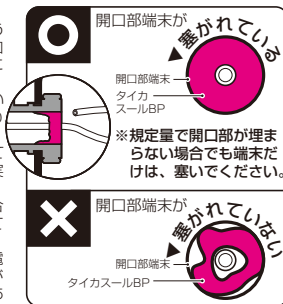
※天井面に施工した場合、ケーブル量が少ない場合等、タイカスールBP落下の恐れがある時は、同梱品の「落下防止シート」を端部に貼り付けてください。



タイカスールBPは、必ず配管部の両端に施工してください

端部開口部の充填について

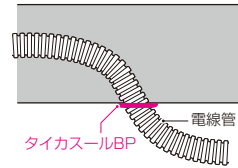
- タイカスールBPは、開口部(コネクタ、ニューF・ころエンド、合成樹脂製可とう電線管端末等)に、所定量を詰め、開口部から抜け落ちないよう、右図の様に端末迄塞いでください。
(注)タイカスールBPで端末を塞がないと、抜け落ち(剥がれ)の原因となり延焼の恐れがあります。
- ケーブル(電線)量が開口部に対して少ない場合は特に注意し、端末を確実に塞いでください。
- ケーブル量が開口部に対して多い場合は、開口部の奥まで押し込むようにして詰めてください。
- タイカスールBP施工後、ケーブル(電線)を動かした場合は、開口部の端末が塞がれているかを確認し、隙間等があれば必ず直してください。



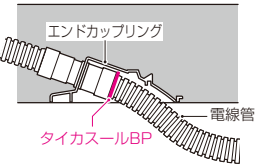
◇注意：パテを使用する場合、施工要領に従って正しく施工してください。必要以上に多く盛り過ぎると落下する恐れがあります。

●連続配管(KK29-033号)の場合

- 端部付属品を使用しない場合は、タイカスールBPをコンクリートから突出した電線管の外周一周を巻き、且つコンクリートに密着するように塗りつける。



- エンドカップリング使用時は、タイカスールBPをコネクタと電線管との接続部分の外周一周を巻き、所定量を塗りつける。



タイカスールBP消防評定のQ&A

- Q 一つのボックスに複数の配管を接続しても良いか。
A KK29-032号において、一つのボックスに対し最大6本まで接続可能です。
- Q KK19-096-1号において、一つのボックスに複数の配管を接続する場合はどうか。
A 耐火性能上問題ないと考えますが、所轄消防にご確認のうえ、施工してください。
- Q 一つのボックスにPF管のみ(又はCD管のみ)で6本接続しても良いか。
A KK29-032号において、評定仕様であり問題ありません。
- Q 一つのボックスに複数の配管を接続し、逆側の端部を複数のエンドカバー(又はF・ころエンド)としても良いか。
A KK29-032号において、評定仕様であり問題ありません。
- Q エンドカバー(又はF・ころエンド)を『壁』に設置しても良いか。
A KK29-032号、KK19-096-1号ともに、評定仕様であり問題ありません。
- Q KK29-033号の施工で、エンドカップリングを近接して設置しても良いか。
A 200mm以上の離隔が必要である『住戸-住戸間の貫通』であっても、最大4個(4貫通分)まで、横並びで設置できます。